

ちょこつとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

POINT 先進国国債利回り

【2019年8月12日～2019年8月16日】

国債の利回り低下が進行

- ◆米中貿易問題の悪化やユーロ圏の景気指標が大幅に悪化したことなどを受けて、世界景気後退への懸念が一段と強まり、世界的に債券価格が上昇しました。
- ◆米国国債市場では、先行きの景気後退の予兆とされる長短金利の逆転（逆イールド）が発生し、米10年国債利回りは一時3年ぶりに1.5%を割り込む場面がありました。

(%)  米国10年国債利回り



(%)  日本10年国債利回り



(%)  フランス10年国債利回り



(注) データは2019年7月16日から2019年8月16日（日次）。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

ちよこつとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

POINT  **為替**

【2019年8月12日～2019年8月16日】

円が対米ドルで弱含む展開

- ◆米国が対中制裁関税の一部延期を発表したことなどから米ドルが買い戻されました。その後、米国国債市場での逆イールドなどを背景に円は買いが進む場面もありましたが、週間では円安傾向となりました。
- ◆8月のドイツZEW景況感指数が前月から大幅に悪化したことなどをを受けて、円は対ユーロで上昇しました。

 **米ドル円**



 **ユーロ円**



 **豪ドル円**



(注) データは2019年7月16日から2019年8月16日(日次)。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。